

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	21215
----------	-------

1. 開設大学	広島大学 人間社会科学研究科 実務法学専攻		開催方法 (キャンパス・施設)		■対面 (東千田キャンパス) □オンライン (同時・録画)	
	コロナ禍から考える法と社会—次世代に向けて—					
2. 科目名	学問分野	番 号	21	名 称	法学	
3. 担当教員	新井 誠・福永 実・菊池 亨輔 人間社会科学研究科					
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	令和 4 年 10 月 8 日 (土) 13 時 30 分 ~ 16 時 50 分 (60 分×3 回)					
個別開講日	1 回目 10/8	2 回目 /	3 回目 /	4 回目 /	5 回目 /	6 回目 /
5. 募集定員	50 人程度					
6. 科目内容・ 授業計画	<p>1 回 13:30~14:30 コロナ禍から考える憲法 法科大学院 教授 新井 誠 コロナ禍では、人々の様々な行動が制限されるなど、従来当たり前に感じてきた自由や権利、平等に関して考える機会が多くなってきました。では、どのような場面においてどのような憲法上の課題が見えてきたのか。改めて一緒に考えてみましょう。</p> <p>2 回 14:40~15:40 コロナと補償 法科大学院 教授 福永 実 コロナがまん延する度に、政府の要請で多くの飲食・観光業が休業を余儀なくされましたが、それに見合う補償は必ずしも十分なものではないとして、政府の対応に批判が集まりました。ここでは、公法学の観点からコロナ休業に対する補償の要否を考えます。</p> <p>3 回 15:50~16:50 コロナから考える自由と規制 法科大学院 講師 菊池 亨輔 新型コロナウイルスによって、日常の行動ルールや環境が変わったと感じている人は多いでしょう。このような体験を糸口にして、私たちの自由や、必ずしも法によらない様々な行為規制のあり方について、法哲学の見地から考えてみたいと思います。</p>					
7. 受講料	無料					
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) 特になし					
9. 開講条件※ <input checked="" type="checkbox"/> あり・ <input type="checkbox"/> ない	① 最少開講人数 (5 人) 定員超過の不許可は選考により決定 ② 不許可・不開講通知日 (7月8日(金)以前の開講科目は3月末まで/7月9日(土)以降の開講科目は6月末まで)					
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、オンライン(同時・録画)の使用ソフト、受講時の注意など 高校生以外も受講する可能性があります。					
11. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/ → 広島大学 → 交通アクセス → 東千田キャンパス					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。
コロナ禍の影響により、対面講座の不開講・休講またはオンライン(同時・録画)へ変更になる場合があります。